

2026 年 8 月 22 日 (土)
SUPER GT 第 5 戦 予選
鈴鹿サーキット

予選結果

Q1 : 1 位
Q2 : 2 位

予選概要

- ・前戦富士で大クラッシュに見舞われたイゴール・オオムラ・フラガが Q1 を担当
- ・フラガは 2 番手を突き放すトップタイムを記録し、Q1 突破
- ・Q2 では大草りきが 2 番手タイムをマークし、フロントローを獲得

コメント

代表 : 中嶋 悟

「前回の富士大会を思えば、最高の予選になったと思います。少し悔しさの残る予選でもありましたが、メカニックも 2 人のドライバーも本当によく頑張ってくれました。明日のレースも、チーム一丸となって全力で挑みます」

監督 : 伊沢 拓也

「まずは、限られた時間の中でマシンを修復してくれたメカニックのみんなに「お疲れ様」と言いたいです。ドライバー 2 人もよく頑張りました。午前中のフリープラクティスできちんと走り出して、マシンにクラッシュの影響はないと思っていましたが、赤旗中断が連続したりしてポテンシャル自体は読めませんでした。予選に向けて未知の部

分はありましたが、まずは Q1 でイゴールが素晴らしい走りをして、クルマとタイヤの力を見せてくれたので、Q2 に向けても期待は高かったですね。ポールを獲れなかったことは残念ですが、やれることはやり切りました。決勝を見据えたタイヤ選択をした中で、いい予選になったと思います。今日の借りは、明日返します」

大草 りき

「大きいミスはありませんでした。ただ、専有走行のときに自分のミスで飛び出してしまい、同じことは避けたいと、ほんの少しドライビングが手前になってしまったというように思っています。ポールを獲ったチームとのタイム差を見ると、もし専有でミスなく走っていれば、あの躊躇もなく予選で走り切れたかもしれない、そうしたらまた違った結果だったかもしれないという思いはあります。いいクルマを用意してくれたチーム、いいタイヤを用意してくれたダンロップさんに申し訳ないです。とはいえ、2 位でこれだけ悔しいと思えることはポジティブです。ロングランでどうなるか、分からない部分はありますが、悪い方向に行くことは絶対にはないと思うので、決勝を楽しみにしています」

イゴール・オオムラ・フラガ

「タイヤを温める段階からいいパフォーマンスを出せる準備ができましたし、本番の 1 ラップもいいアタックができた手ごたえはありました。フリープラクティスは赤旗の影響で走行時間が短くなってしまいましたが、シミュレーターなどを使って選んできたアイテムの中でも影響力が大きいものは確認することができていたので、予選に向けたアジャストもうまく行ったのかなと思っています。決勝は、路面状況も含めコンディションが大きく変わってくるレースになるのかなと考えているので、そういった変化の中でもパフォーマンスを落とさないように走っていきたいですね。GT500 で勝負できる位置でレースをするのが初めてですが、今自分ができるベストを尽くすことに集中して、優勝を目指して頑張ります」

※明日の決勝レースは 13 時 30 分から 52 周回で行なわれます。